

退職校長会相馬支部会報

そうま

第88号

■発行者■

退職校長会 相馬支部  
支部長 林 宗一郎

■印刷者■

(有)ライト印刷

「今、私にできること」



支部長 林 宗一郎

現在私は、相馬市教育研究実践センターというところで仕事をしています。市内に勤務する小・中学校の先生方を対象とした研修機関である。私が担当している研修は、初任者研修、二年次教員フォローアップ研修、授業力向上研修、英語教育に関する研修、学級経営に関する研修である。

その中で特に力をいれているのが「授業力向上研修」である。この研修のねらいは、「教科の基礎・基本をおさえた授業を研修者中心に設計し、実践を基にした研修を深め、授業力の向上を図る」ことにある。いわゆるコーチングがメイン

の研修であり、研修者の考えを明確にして授業をよりよいものに改善しようとするもので、事前、事後の個別の出前による研修である。今年度は二十四名の先生方がこの研修に参加し、私を含む実践センターの指導主事二名と協力を依頼した市教委の指導主事五名で対応している。以前の話になるが、事前研修で先生方と指導案を基に話をしていく中で「互いに話をしているうちにだんだん授業のイメージがつかめてきました。」

「授業の進め方が少しずつ見えってきました。」「子どもの実態を考慮し、こんな方法でやってみたいと思います。」などの声が聞かれ、たいへんうれしかったのを覚えている。指導案の段階では、まだ明確になっていなかった授業の流れやねらい、手立てが子どもの姿とともに明確に

なっていくという正にこの研修でうたっているコーチングのよい点であり、先生方にとっても担当者にとってもたいへんやりがいのある研修である。

今、学校現場では、若い先生方が増え、日々悪戦苦闘しながら授業実践にあたっているのではないだろうか。この研修が先生方の指導力向上の一助となれば幸いである。

寄稿 「AI時代の到来」

福島県教育庁相双教育事務所長 山本秀和



早いもので、退職してから今年で八年目になる。  
今年度の県公立学校退職校長会の重点目標の中に諸課題の解決に向けた活動として「学校・現役校長・教育委員会等に対する協力」という項目がある。その趣旨を踏まえ、このような研修を通して、現場の先生方をサポートしていくことが、今、私にできることと考える。

インターネットで検索すれば、自分が知りたい情報が何でも得られる時代です。その時代において、知識を習得することの意義はどこにあると考えられるのでしょうか。情報がたくさん集まれば知識になると考えがちですが、それは違うと思います。知識は単なる情報の寄せ集めではなくて、情報の意味の理解が必要で、情報はあくまでデータと呼ばれるものに過ぎないでしょう。本当の知識とは、「偶発的

な出来事に対処するための柔軟な構造をもったもの」であるそうです。これからの時代は、これまで私たちが過ごしてきた世界とは、全く違う世界となるでしょう。その世界を生き抜いていく子ども達にとっては、きっと思いがけない事態の連続が起きることでしょう。その時に、柔軟な対応をしていくために知識という無数の点が必要となり、さらに相互に関連付けて面や立体に変えていくことが大切になるのは間違いありません。  
そこで必要になるのが、AIの活用です。先日、長めの文章をAIで要約してみました。それらしい文章がでかあります。

驚きです。その時に心に浮かんだのは、「きっとこのAIの中には、ロボットが常駐しているのだろう」と思っている自分がいたことです。小さいときから、鉄腕アトムやドラえもんなど、AIが組み込まれたロボット型のアンドロイドが機械ではなく、感情や意思をもつものだとして生活の中に溶け込んでいるからだと思います。元々、森羅万象に靈魂が宿るアニミズムという考え方（小学校低学年の指導で「消しゴムさんがかわいそうでしょ」という感覚）が私たちの根底にあり、科学技術がもたらす価値の変化にも対応しやすいのでしょうか。  
生まれたときから、スマホが身近にあり、情報の渦の中で育ってきた子ども達です。ただ、その情報を理解し、知識となり、実践を伴い知恵とならなければ、いずれ人を傷つける結果となります。どんなに情報があっても、人付き合いの知識や知恵が無ければ、自分の周りを傷つけます。お金の知識や知恵が無ければ、自分自身に金銭的苦しみを与えます。働き方改革が推奨されている中で、教育における「不易と流行」を再度考え直していかなければならないようです。

総会報告及び事業報告

第六十一回福島県公立学校退職校長会相馬支部総会が四月十八日（金）、南相馬市原町区のニューさいとうにおいて開催され、二十三名の会員の方々にご参加を頂きました。

会の進行は金谷哲様に務めて頂き、初めに、この一年間にお亡くなりになられた八名の会員の皆様に黙祷を捧げました。その後、高野敦夫支部長からは、コロナの感染状況を踏まえつつ各クラブ活動や会報の発行等において創意工夫した活動を実施したこと、他県の支部では会員の減少により支部組織を解消したこと、

今後の各種事業へ委員の依頼協力、新入会員の報告等について挨拶がありました。

次に、賀寿一名、賀詞六名、喜寿三名の皆様に祝品贈呈があり、藤本忠平様为代表して謝辞を述べられました。また、瑞宝双光章を受章された吉田雄二様、地方教育行政功労者表彰を受賞された渡辺金作様へ祝品を贈呈し、お二人よりご挨拶を頂きました。

続いて、山邊彰一様を議長に選出し、第一号議案から第七号議案までの議事に入りました。

令和六年度の会務報告、会計決算報告、特別会計報告、監査報告、令和七年度努力事項、事業計画、会計

予算案が原案通り承認されました。また、今年度は役員改選の年度となり、二年間、林宗一郎支部長のもと、新しい役員で、相馬支部を運営していくことになりました。

今後、会員皆様のご理解・ご協力を頂くとともに、県本部や各地区の校長会との連携をより一層図りながら、会の運営に努めて参りたいと考えています。

なお、今年度は、総会の会場で懇親会も行われ、十八名の会員の出席がありました。杉内律子様の進行、加藤潤一様の乾杯のご発声で、和やかに会が進められました。

誠におめでとう  
ございます

◆地方教育行政功労者表彰

渡辺金作様  
（元 小高小学校長）

◆賀寿（満九十五歳）

志賀英隆様  
（元 原町第一小学校校長）

◆賀詞（満八十八歳）

佐藤幸雄様  
（元 中村第一中学校長）

佐藤利郎様  
（元 原町第一中学校長）

渡辺剛様  
（元 原町第三小学校長）

藤本忠平様  
（元 相馬高等学校校長）

大久雄一郎様  
（元 平養護中学校長）

佐藤恒雄様  
（元 小名浜高等学校長）

◆喜寿（満七十七歳）

星俊様  
（元 向陽中学校長）

鈴木進一様  
（元 原町第三小学校長）

石川一夫様  
（元 磯部中学校長）

令和7年度福島県立公立学校退職校長会  
相馬支部役員

相馬支部役員

地区役員

理事

|     |       |        |       |
|-----|-------|--------|-------|
| 支部長 | 林 宗一郎 | △新地7▽  | 加藤 潤一 |
|     | 副支部長  | 星 和彦   | 菅野 耕平 |
| 監事  | 井上 恭一 | 副会長    | 吉田 雄二 |
|     | 梅田 善幸 | 事務局    | 堀川 幸一 |
| 幹事  | 村田 権一 | △相馬57▽ | 渡邊 博之 |
|     | 午来 勝顕 | 会 長    | 伊藤 浩樹 |
|     | 島 和宏  | 副会長    | 小関 洋  |
| 新地  | 但野 良子 | △鹿島17▽ | 星 和彦  |
|     | 渡邊 博之 | 会 長    | 大谷 一裕 |
| 相馬  | 伊藤 浩樹 | 副会長    | 鎌田 由人 |
|     | 武山 弘  | 事務局    | 阿部テル子 |
|     | 松本 一宏 | △原町64▽ | 草野 正徳 |
| 鹿島  | 鎌田 由人 | 会 長    | 清信 悦孝 |
|     | 大谷 一裕 | 副会長    | 山邊 彰一 |
|     |       | 事務局    | 杉内 律子 |
| 原町  | 佐藤 光正 | △小高20▽ | 渡辺 金作 |
|     | 玉川 雄一 | 会 長    | 飯塚 宏  |
|     | 山邊 彰一 | 副会長    | 金谷 哲  |
|     | 杉内 律子 | 事務局    | 梅田 善幸 |
| 小高  | 金谷 哲  |        |       |
|     | 梅田 善幸 |        |       |



## 学校紹介

## 夢ふくらませ 道を拓く

飯館村立いたて希望の里学園校長 根本 晃宏



令和二年四月、被災地としては、初の義務教育学校「いたて希望の里学園」として開校して以来、今年度で六年目となりました。

おかげさまで、本校の校歌である「孤高の星」(作詞：黛まどか、作曲：南こうせつ)も児童生徒を含め、保護者や地域の方々に定着してきました。この校歌には、「までのいの心もち、気高く育ってほしい」という思いがあります。

私は、着任から二年が過ぎ、三年目となりましたが、この緑豊かな「までのいの村」に毎日響き渡る児童生徒たちの「おはようございます」という元気なあいさつに、いつも元気をもらって仕事をしております。

この目を輝かせた児童生徒たちのため、飯館村の復興のため、教職員一同、保護者や地域の方々の協力のもと、次の三点に重点を置いて教育を実践しています。

一点目は、義務教育学校九年間を見通した小中一貫教育です。具体的には、後期課程教員による教科担任制や前期・後期過程教員による相互乗り入れ授業の実施、数学科における習熟度別学習の継続、九年間を見通したキャリア教育の推進、読書・NIEを活用した日常的な読解力の向上、AIドリルによる基礎基本の定着を推進しております。

二点目は、全学年で実践している探究的なふるさと学習です。本校は、義務教育学校のため、特別な教科「いたて学」を設置することができません。そして、九年間を通して、飯館村の自然・文化・歴史・伝統を体系的に学び、発信することと村の伝統文化を継承し、未来の飯館村をつくる人材の育成に努めています。三点目は、多様な異学年

交流・縦割り活動です。少人数教育の良さや強みを生かした教育活動を実践しながら、教科や学校行事、特別活動などの様々な場面で、連携・交流を推進し、児童生徒の好ましい成長のために全力を尽くしています。

以上のような、いたて希望の里学園の特色ある教育活動を日々推進することと、「までのいの心をもつた、気高い児童生徒」、「夢をふくらませ、道を拓く力をもった児童生徒」を育成したいと考えておりますので、今後とも引き続き、あたたかなご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。



## お待ちしております。

## 新入会員紹介

一氏 名(最終勤務校)



村田 権一 (小高小)

今年度より、南相馬市学校教育支援センター・やすらぎ広場に勤務しています。令和二年度に原町第三小学校を定年退職し、その後四年間小高小学校に再任用校長として勤務させていただきました。

避難地域の学校に勤務させていただいて、改めて様々な教育の課題に気付くことができました。子供たちの将来の希望をかなえるための学力向上、不登校、教職員の働き方改革、地域との連携等、現在の学校は様々な課題に直面しています。

現在、不登校の子供たちと直接かかわることで、少しでも子供たち、教職員の助けになればと思っています。



和田 安吉 (石神二小)

再任用校長を二年間務め、現在は学力向上支援アドバイザーとして、鹿島小、上真野小、鹿島中、原町三中で算数・数学の授業支援をしています。

左手にタブレット、右手にタッチペンを持ち、授業の様子を写真や動画で記録しながら、ロイロノートにまとめる日々。まさか自分がロイロノートを使うことになるとは…。「学び直し」を実感しています。それでも、先生方に多くのことを教えていただきながら、楽しく活動できていることに感謝しています。放課後は記録をもとに先生方と話し合いを重ね、それぞれの困り感に寄り添う形で支援を行っています。(そう感じているのは私だけかもしれません。)

働ける喜びを胸に、子供たちのためにもう少しがんばりたいと思います。どうぞよろしく願います。

# ここから始まる 「マイブーム」

大沼 博文



退職したら始めたい、楽しみにながら学び、上達したい。残された人生の「マイブーム」にできたら、と考えていたことがいくつかある。

まず、一つ目は「旅行」。さっそく手始めに「大人の休日倶楽部パス」を使って、秋田、弘前、函館を一人で放浪した。大学時代に男鹿半島を旅した際、五能

線の景観に感動した記憶があり、四十五年ぶりに再訪。リゾートしらかみの車窓から広がる圧倒的な自然美と、地域に根ざしたおもてなしの融合は、まさに「五感を刺激する絶景列車」だった。

これからは夫婦でのんびり、あるいは気のおけない友と語らいながら、日本の津々浦々を訪ね歩きたい。その土地ならではの地酒と郷土料理に舌鼓を打つのを一番の楽しみに。

二つ目は「サイクリング」。五十代半ばから年数回程度、健康維持を兼ねて県内外の市民マラソンに参加してきたのだが、膝や腰の痛みとともにジョギングを断念。たまたま友人からロードバイクを譲り受けたのを機に、浜街道などを走り始めた。

風を切る爽快感とともに、普段見過ごしていた道端の花木や風景など、新たな発見がある。「ツールド〇〇」と銘打ったレースへの参加は無理でも、己の脚力でどこまで行けるか、いつか挑戦してみたい。

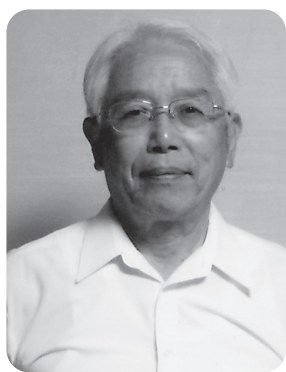
そして、三つ目は「書道」。パソコンのキーボードを叩くばかりで、筆を持つ機会がすっかり減ってしまった。書道教室を主宰する元同僚の下で、五月から臨書を教わっている。

集中して墨と向き合い、美しい文字を書くことは、心を整えることにも通じる。師匠が専門とする刻字にも挑戦するなどして、孫から「おじいちゃんの字、かっこいい！」と言われる日を夢見ながら精進しよう。

いずれも、私の残された人生を彩る候補たち。他にも、ゴルフや写真など挑戦したいことがあるいろいろある。極める、まではいかずとも、それぞれを「マイブーム」として、日々の時間を豊かにしていきたい。

## 日々雑感

丹野 鐵生



会報88号、私の年も88、偶然だ。私も編集委員を50号から十年程やったなあ。今年は昭和百年、戦後80年。いろいろあった。世界大戦と敗戦。朝鮮からの引揚げ、食料不足。学校給食に脱脂粉乳。そして、東日本大震災と原発爆発。

年取れば体が不自由だ。二年前、脳梗塞に罹ったが、特に不自由がなかった。最近、関節の軟骨が半減し歩くことが面倒になつてきた。「生き生きヘルシー」に自慢することがない。血圧を測り、朝昼晩3回薬を飲む。週1回の訪問リハビリ。

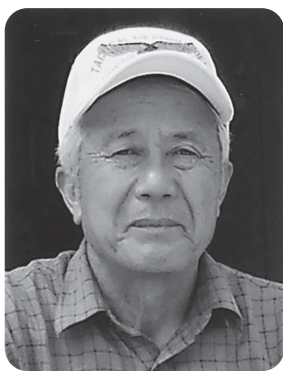
そろそろ身の回りを片付けしようと思う。40年分の大学ノートの日記、書籍、切抜き、会議記録、手紙などは資源ごみに、アルバムや衣類などは燃えるごみに。職員旅行の葉と観光案内が出てきたときは、しばらく眺めた。エンディングノートはまだ書けない。

毎日来る新聞や月刊雑誌、ラジオ深夜便が楽しみだ。ラジオは枕元に置いて、毎晩聞くとともに聞いて

いる。ラジオ深夜便は聞き逃した声の再録記事、エッセー、番組情報など載っている。テレビはスポーツ中心で野球のMLB大谷選手の試合は見逃さないようにしている。スポーツなら何でもよい。勝っても負けてもいいじゃないか。

## 親に感謝、さらに

松本 定弘



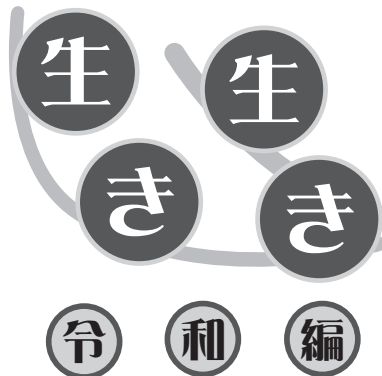
八十才を過ぎますと「生き生き」と題しての文章を書くのは、辛いものがありますが、日々の生活の様子を綴ってみます。

かかりつけの医者から「減量」するようにと言われています。理想の体重から7kgのオーバーとか、これが、なかなか大変であります。家内からは、「晩酌をやめれば」の一言で、週一回の休肝日を実施しています。六時起床、ラジオ

ヘルシー

— healthy —

～ 執筆2巡目連載中 ～



## 明日も続きを

高野 謙一



体操第一、散歩、夜寝る前に腹筋三十回を義務づけています。あせらず気長に続けていきたい。

昨年、かかりつけの歯科医のお世話で8020に応募し、知事より認定書ももらいました。歯医者さんから、「あなたは両親から良い歯をもらってきたね」と言われました。体のほうも特に悪いところもなく毎日元気に過ごしています。

今後この身体を維持するようにしていきたいものである。でも、気になるのが認知症、八十七才で運転免許証の返納を考えている。毎日、送迎している小三の孫娘が高校生になるまでボケないで生活したいものである。「新しい朝がくる」・今日も元気・

今年、昭和百年に当たるので、その九割近くを私は生きてきたことになる。

自分が生きてきた時代のことを詳しく知りたいというの、若い頃からの私の関心事で、これまで読んできた本などは、それに関わるものも多い。

近現代史などを中心に、半藤一利氏の言うB面もの(当時の社会の出来事や世相、流行等)などを併せて読むと、時代の特色が身近に捉えることができそうだと考え、あれこれ読み漁ってきた。そうすることで時代と自分が重なり、見えてくるものが様々にある。

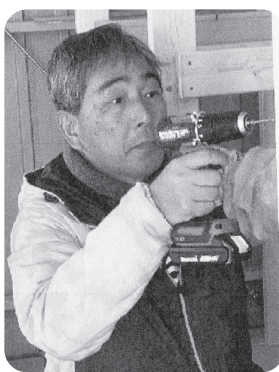
◆ ◆ ◆  
新任教師の頃、折からの週刊誌ブームの到来に、職場の先輩にこう言われた。

『内容が二、三頁に収まるような安易な読み方に慣れるな。若いうちは内容の濃い厚めの本を読むことだ。年齢と共に気力体力が落ちると厚い本などは敬遠したが。出来るだけそれを先に伸ばすことだ』と。私はその先輩を尊敬していたから、忠告を概ね守ってきた。年々、読書力は衰えてきたが、今も本を億劫がらずに読めるのは、先輩のおかげだと感謝している。続きを明日にと楽しみに一日を終えるのが、私のヘルシーライフでもあります。

## 自分でできる

### ことを増やす

伏見 伸一郎



令和四年三月。退職一年前に起きた大地震により、我が家は大きな痛手を負いました。地盤沈下によって母屋は南東部が沈降。納屋

は床が大きく傾きました。母屋は半年後にリフォーム。大工さんが電動工具を使ってテキパキ作業を進める姿に憧れを覚えしました。私も自分の力で様々な物事を成し遂げたいと考えるようになった。

その後、私は退職し、納屋をガレージに建て替えた際には、時間的な余裕もできたので、ガレージの棚や庇などをDIYで作ってみました。YouTubeを参考にしながら作り方を研究。

いろいろ試行錯誤しながら作った割には、なかなかの仕上がりで、「我ながらやるなあ」と悦に入ることができました。妻にも大好評で、「今度は踏み台を作ってね」とオーダーをいただいたときには「自分は役立っている」と感じ、自己肯定感を高めることもできました。

今年に入って、父親が急逝しました。葬儀の際にはたくさんの皆様に弔問いただき、この場をお借りして御礼申し上げます。

葬儀以降は様々な手続き等でDIYどころではなく

なっています。鹿島の田舎にある我が家では山林や原野等の土地をそれなりに所有していて、その相続登記もたいへんです。しかし、現職中なら多忙を理由に司法書士に依頼していたでしょうが、今は時間的な余裕があります。「相続登記を自分の力でやれるところまでやってみよう」と考えることができました。

現在、相馬の法務局に行ったり、市役所の税務課に行ったりして、分からないことを教えてもらいながら進めております。一歩進む毎に、「分かる・できる」が増え、自分の成長を実感することができています。子どももみたいです。



# クラブ活動

## 囲碁クラブ

大谷 一裕

年間の活動は、次の通りです。

- 親睦囲碁のつどい
- ・十月頃と二月頃に開催する予定（平日か休日の午後一時から三時頃まで）
- ・場所（鹿島交流センターか原町区で予定）
- ・部員と囲碁に関心のある方に、その都度連絡いたします。

・囲碁が初めてという方も大歓迎ですので、お気軽にご連絡ください。

○囲碁クラブも、年々部員数が減少しています。部員の皆様にお伺いしながら、今後の在り方について検討していきたいと思っています。

## ゴルフクラブ

菅野 耕平

本年四月、総会を開催、役員改選及び事業計画等を決定しました。  
年十二回の例会は鹿島C



Cをメインに、宮城野GCでも実施予定です。

会員数約三十名、会員相互の親睦を図るとともに、現状維持ではなく、健康面でも一歩でも二歩でも前進できるように変化を求めて行くことを目標にしたいと思っています。自然の中に身を置くことで、輝く太陽の光、心地よい風を感じ、芝草を踏みこむことで普段の流れを癒し、プレーすること、明日への元気と活力が湧いてきます。

ゴルフは注意力を保ち、懸命に歩き、脚力を付け、集中力を維持し、的確な判断を下していくという、自分との戦いでもあります。まずは、健康第一に明るく楽しく目標に向かって頑張ってみましょう！

## 俳句クラブ

江井 芳朗

本年度は、コロナ禍も収まってきたため、八月に懇親会も兼ねた研修会を計画しました。ただ、昨年メンバーの草野博夫先生が亡くなられ、現在部員が三名であり、心細い限りです。俳句は難しくはありません。興味があれば、他クラブ員であつてもご参加ください。お待ちしております。

俳句の良さは、季語があり、自然に親しめることです。それを、五・七・五音の韻を含む詩情として表現できることです。

暮 一歩歩みぐいぐい  
歩み出す 芳朗

暮も人間に似ていることに驚き、句となりました。一歩踏み出すことが、大変で、踏み出せばぐいぐいと進むのです。人間誰しも一歩踏み出すことに考えあぐねるのです。



## 釣りクラブ

杉浦 伸吉

今年の釣りクラブの日程は下記のとおりです。

七月 相馬港釣り棧橋付近（南防波堤）  
九月 塩釜港防波堤（魚市場東側）  
十月 亘理町鳥の海公園（釣り公園）  
十一月 一泊二日檜原湖（早稲沢）ワカサギ釣りを計画しています。

また、釣り情報を臨時に得て釣りをすることもあります。温暖化の影響で魚の生育環境も変化して釣果も様々ですが、広々とした砂浜、港湾の桟橋や防波堤、それに山々に囲まれた湖などで一日を過ごすことは、気分転換やストレス発散になります。さらに自分なりに工夫して作った仕掛けで魚がかかったりしたら最高の気分です。

参加者は少なくなっています。どなたでも参加可能ですので、事務局に連絡ください。

## パークゴルフクラブ

浜名 俊明

パークゴルフは、一九八五年に北海道幕別町の公園で誕生しました。クラブ一本とボール一個があれば誰にでも楽しめる野外スポーツです。ルールも簡単で、打数の少ない人が勝ちとなります。パークゴルフクラブの会員は、今年度は十八名が所属し、各自が目的（体力保持・技能向上・ダイエットなど）を持って頑張っています。今年度の活動は次の通りです。

- パークゴルフを楽しむ会
  - ・毎週火・木曜日の午後
  - ・東武PG場（川子）にて
  - 親善パークゴルフ大会
  - ・十月三十日（木）午後
  - ・東武PG場に於いて
  - ・四コース。三十六ホール
- ※初めての方・初心者等も参加可能です。

園芸（盆栽・山野草・庭木）クラブ、保健クラブ、書道クラブ、短歌クラブ、旅行クラブ、将棋クラブは休部中です。

# 東 西 南 北

## 新地地区

四月五日に本年度の総会を「旬彩工房まるふじ」で開催しました。久しぶりに新しい会員を迎え、例年とは少し違った雰囲気の中での総会となりました。

本年度の事業についての協議では、現職の校長先生方との懇談会を例年通り開催することや相馬市退職校長会の事業に参加させてもらうことなどを確認しました。

総会終了後は、互いの近況を語り合ったりなど、楽しいひとときを過ごすことができました。

(吉田 雄二)



## 相馬地区

去る四月五日に、相馬市教育実践センターにおいて今年度の地区総会を行い、事業計画等の承認をいただきました。今年度は五十六

名の会員の皆様と一緒に、活動してまいります。

昨年度、近年開催を控えていた諸事業の再開を計画しました。現職校長との合同研修会「重陽会」は、中止となりましたが、紅葉狩りは開催できました。

今年度は「重陽会」と紅葉狩りの二事業を開催し、会の活性化を図ってまいりますので、多くの会員の皆様の参加をお願い致します。

(伊藤 浩樹)

## 南相馬市鹿島区

四月五日に鹿島区の「亀八」にて区総会を開催し、今年度の活動について決定。そうした中、鹿島区退職校長会の重鎮、伏見裕方先生がお亡くなりになり、会員一同大きな悲しみに包まれました。先生の思いを引き継ぎ、今年度の活動をしてまいります。具体的には、コロナ禍で休止していた教和会(区内小中学校校長との情報交換会)、年末の研修会を兼ねての忘年会等

を予定。有志によるパークゴルフを楽しむ会も継続しています。

## 南相馬市原町区

総会には、会員十五名が参加、米寿を迎える四名と喜寿の一名、金婚の三名の会員が紹介され、出席された米寿の佐藤利郎先生と金婚を迎える大浦清孝先生へ祝品を贈呈いたしました。

議事では、草野正徳会長他役員の承認と新規事業の実施等が了承されました。

その後、原町区内の小中学校長十名の出席を得て懇親会が開催され、小中と高校との連携等に話が盛り上がりしました。

この秋、九月に役員会を開催し、秋の研修会、懇親会等について協議します。

今年度の会員数は六十二名です。(山邊 彰二)

## 南相馬市小高区

今年度は、五月十七日に二十一名の会員の中から十一名の参加の下、総会を行いました。

総会では、渡辺金作先生を新会長として今後の会の

運営等について話し合いました。また、小高小学校の林典行校長先生においていただき、学校の現状や経営方針、課題等についてお話しいただきました。その後、出席者の近況報告を行いました。

(金谷 哲)

ご冥福をお祈り  
申し上げます

故 荒川 澄先生(89歳)

令和6年12月14日逝去

昭和32年福島大卒。同年飯館村立白石小教諭を振り出しに、小高町立金房中、原町一中、浪江小、高平小教諭を経て、昭和58年会津高田町立赤沢小教頭に昇任。石神一小、原町一小教頭を経て、平成4年鹿島町立八沢小学校長に昇任。平成7年同校で定年退職。

故 鈴木 則久先生(87歳)

令和7年3月21日逝去

昭和37年福島大卒。同年平市立赤井小学校に赴任。昭和56年飯館村立飯樋小学校教頭に昇任。相双教育事務所社会教育主事を経て、平成2年都

路村立大久保小学校長に昇任。相馬市教育委員会学校教育課長等を歴任し、平成9年原町市立石神第二小学校長として着任。平成12年同校を定年退職。退職後に相馬市教育研究実践センター所長を務めた。

故 伏見 裕方先生(92歳)

令和7年5月7日逝去

昭和30年福島大卒。同年標準葉町立新山小学校を振り出しに川内村立川内第一小学校などに勤務。昭和47年飯館村立小宮小学校教頭に昇進。原町第一小学校教頭を経て昭和60年浪江町立津島中学校長に昇任。原町第三中学校長を経て鹿島町立鹿島小学校長を最後に退職。その後平成4年より鹿島町教育長を務める。

故 堀川 理洋先生(78歳)

令和7年6月20日逝去

昭和50年福島大卒。同年浅川町立浅川小教諭を振り出しに、飯館村や原町市の小学校教諭を経て、平成2年いわき市立永戸小教頭に昇任。相馬市立養護学校、原町三小教頭を経て、平成9年飯館村立草野小学校長に昇任。日立木小、上真野小学校長を務め、平成16年飯豊小学校長となり、平成19年同校で退職。

# 文芸

## 俳句

江井 芳朗

勿来の関鶯の声沁み透る

ほの朱き葉に抱かれし山桜

地酒主役花見脇役座す筵

若葉風胸ふつくらと観音像

落花踏み竦む踏絵の足想ふ

金谷 哲

散髪を終へし頭上の初つばめ

万緑や背よりも高さ

バーを跳び

相馬涼ヶ岡八幡神社にて

大杉は横綱のごと夏の空

流鏑馬の名残の風や夏神社

夏空や社殿に降りし天の竜

## 川柳

山野辺 久

しとしとと降る春雨に  
気もそぞろ

向き合つて老いの平和を

噛みしめる

手を合わせ心を洗う神詣で

一杯のお神酒効いたか

千鳥足

どんと来いここ一番に

身構える

平間 勝成

言えるかな一緒に暮らそう

あの世でも

目の前に誤えん転倒

見え隠れ

好き嫌い言わぬが花で

好かれます

卒業に我が師の恩が

聴こえない

涙垂れは居ず馬鹿たれは

居る昨今

前山 利栄

菜の花の迷路で妻と

手をつなぐ

言ってみたくな

「お酒は買ったことがない」

長嶋は不滅空から

「勝つ勝つ」と

傘寿会初恋さんに劣化なし

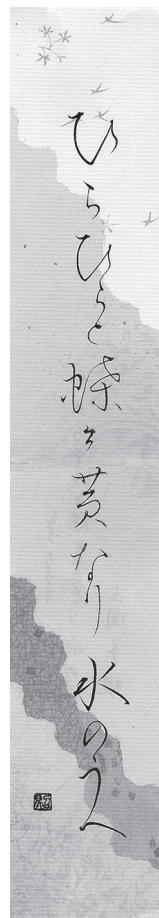
エアコンの茶の間が

僕を離さない

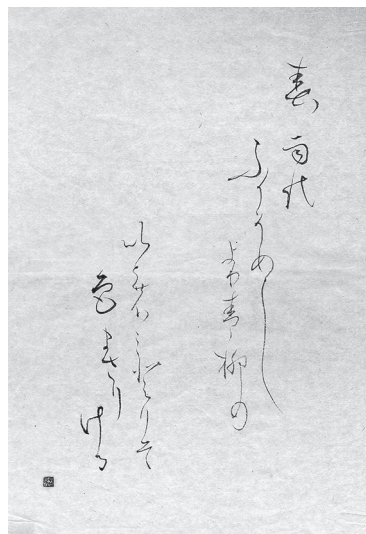
# 書

阿部 照苑

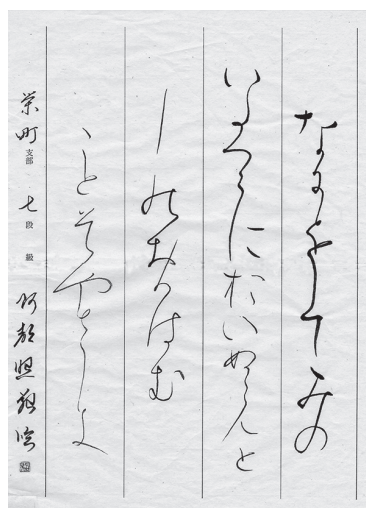
ひらひらと蝶々黄なり水の上 (正岡子規)



春雨の降りそめしより青柳の糸の緑ぞ  
色まさりける (新古今和歌集・凡河内躬恒)



高野切第三種



# 彫刻

寿老人像

伊達 孝行



写真は、高さ十六センチ  
の小ぶりの寿老人像です。

小さいですが手には長寿  
のシンボルである桃と杖を  
持っています。

寿老人は、世の中が平和  
な時にしか姿を現さないと  
言われています。今、世界  
では戦争や紛争があちこち  
で起こっています。寿老人  
が姿を現す世界になること  
を祈るばかりです。

# 編集後記

今年の夏は本当に暑いで  
すね。皆さん、自分の健康管  
理は万全でしょうか。もう少  
し、まだ頑張れると無理をす  
るのは禁物です。早め、早め  
の判断と対策が大切です。

## 編集委員

◎ 森 仁 (新地)  
反 畑 生 (相馬)  
星 国 央 (鹿島)  
藤 卷 孝 (小高)